

## 研修報告書No. 2 4

所 属：三豊総合病院 2年目研修医

研修先：特定医療法人長生会大井田病院

平成28年2月1日から2週間、大井田病院にて地域医療研修を行った〇〇 〇〇です。高知市には日曜市に子供のころから何度もお邪魔したことはあったのですが、高知県西部にお邪魔するのは今回が初めてであり、どういった場所なのか、どういう医療体制なのか、正直かなり不安な部分もありました。

実際に研修が始まると、田中院長をはじめフレンドリーなスタッフに囲まれ、高知の先進的な地域医療連携システム（ドクターヘリやイントラネットによる情報共有）を目の当たりにし、高知の地域医療のイメージが大きく変わりました。聴診器一本で行うというイメージであった訪問診察も、心電図、レントゲン、エコーを完備しており、一般外来の機能を在宅で行えるようなシステムには本当に感銘を受けました。

高知県は南海地震の危機が迫る中、本当に先進的な地域医療システムを構築していると感じました。私の住む香川県は全国でもっとも狭い県であり、ドクターヘリのシステム自体があまり機能していません。機能していないというよりは救急車と隣県岡山のヘリ支援によりある程度賄えていると言えよいか。離島以外は平地が多く、面積も狭いため救急車に対応できますし、瀬戸内海の島々に関しては必要に応じて岡山県からヘリが来てくださっているというお話を伺っています。しかし高知県は全く状況が異なると感じました。東西に長く、医療資源の大部分が東部の高知市周辺に集中し、平地が少なく、山地の多い地形、離島も多いといった条件からドクターヘリは必要不可欠な地方であると感じました。高知での地域医療研修を行うまでは、ドクターヘリというものは素早い患者搬送、および、早期の医師と患者のコンタクトのためにあるものという認識でした。しかし、地域医療における最も大きな役割というのは、救急車の無い地域を無くす、無医村地帯を無くすというものになるということに気づかされました。

私は1泊2日で沖の島診療所で研修させていただきましたが、そこでは週末には医師がいなくなります。そこで救急患者が発生したといったときに、島には医師はもちろん救急車も無いわけで、ここでヘリコプター搬送という手段が失われると本当の意味での一時的な無医村地帯となってしまいます。このような重要な役割があることを知らずになんとなく「ドクターヘリってカッコいい。患者搬送も早いし。」程度に考えてしまっていた自分が恥ずかしいです。

また、高知医療センターが中心となって情報共有を進めるイントラネットでは、他病院との患者情報の共有が大変スムーズに進められますし、タイムラインが表示され非常にわかり易い高知県全域の救急搬送の一覧の閲覧、救急車内カメラの使用など、地域の救急医療を守るため、大変尽力されているのが印象的でした。

少子高齢化、医師の偏在といった問題が顕在化する昨今、新たなシステムを構築することでその状況をカバーしていくといったことは地域医療を守るため、大変重要な事項であり、私の地元香川県でも是非このような取り組みをしていただきたいと思います。また、高知で構築した先進的な地域医療システムは全国に発信すべき大変優れたものと感じていますし、今後ともブラッシュアップしていただきたいと思いますと感じております。

研修の合間の休日には美味しいカツオや鯖のお刺身を楽しめただけでなく、人生初サーフィンやサンゴ礁でのグラスボートなど高知の豊かな自然を全身で感じることもできました。本当に魅力的な土地だと感じましたので、今年の夏は大学の同級生と四万十川にキャンプに来るべく現在予定を調整中です。

大変短い間でしたが非常に充実した研修になりました。ご迷惑をおかけすることもあったかとは思いますが、本当にありがとうございました。